

読売新聞 2021年5月18日 「気流」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校2年(六か年コース) I組 登谷 樹 君

僕は小学生の時、起きてから登校するまでの間、新聞を読んでいた。

当時、新聞に目を通して同級生がクラスにもう1人いた。僕はスポーツやテレビ欄が中心だったが、彼は政治や経済の記事を読んでいて最難関中学に合格した。「新聞が勉強に役立っていたのかもしれない」と思った。

中学、高校生になってからは朝が忙しく、新聞を手にすることができなかった。しかし、今後は、社会に関心を持ち、視野を広げるためにも小学生の頃のように、新聞を読むことを習慣にしたい。